

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	聴覚心理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	田中 良				
実務経験と その関連資格					
《授業科目における学習内容》					
音響学的に見てきた音の性質が人間の心理的な処理を経由したときに、どのように感知されるかを扱う。基本的に国家試験の範囲で行う。できる限り平易な表現で授業を行うので、各自がゆっくり咀嚼すれば毎回理解できる内容となる。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験(100%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
《授業外における学習方法》					
配布した授業資料を丁寧に復習すること。					
《履修に当たっての留意点》					
人が感知した場合の音の性質を理解する。					
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	音の3要素について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	大きさ 高さ 音色 弁別			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	音の知覚の法則について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	ウェーバーの法則 フェヒナーの法則 スティーブンスのべき法則			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	閾値・等感曲線について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	閾値 等ラウドネス曲線			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	聴力検査に関連するレベルの種類と仕組みについて理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	聴力レベル 感覚レベル			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	騒音の測定でのレベルの種類と仕組みについて理解する。	配布資料	配布資料を確認する。	
	各コマに おける 授業予定	重み付け音圧レベル			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	聴覚フィルターについて理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	聴覚フィルター		
第7回	授業を通じての到達目標	マスキングの仕組みについて理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	マスキング		
第8回	授業を通じての到達目標	音圧と周波数に関する単位を整理して理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	音圧と周波数に関する物理量と心理量		
第9回	授業を通じての到達目標	両耳聴の性質について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	両耳聴		
第10回	授業を通じての到達目標	短音の性質について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	短音の知覚		
第11回	授業を通じての到達目標	主に外耳道の役割について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	外耳道		
第12回	授業を通じての到達目標	主に中耳の役割について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	中耳		
第13回	授業を通じての到達目標	主に内耳の役割について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	内耳		
第14回	授業を通じての到達目標	主に聴神経の役割について理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	聴神経		
第15回	授業を通じての到達目標	聴覚心理学の全体像を整理して理解する。	配布資料	配布資料を確認する。
	各コマにおける授業予定	聴覚心理学のまとめ		